

# 令和元年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

## 語学・大学留学コース 2月レポート

土屋 菜月

オハイオの冬はまだまだ凍えるような寒さが続いております。2月の最後の週には中間テストがあり、提出物とテスト勉強に追われていました。しかし、その後には待ちにまった春休みがあったので、なんとか乗り越えることができました。

2月5日に、中川在デトロイト日本総領事より、ディナーにご招待していただきました。福井県からの留学生2人と、フィンドレー市長夫妻、経済開発局長夫妻とご一緒させていただきました。楽しみな気持ちとともに緊張もありましたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。節分をコンセプトにした贅沢な日本食をいただきながら、留学生活や、日本とアメリカの文化についてだけではなく、中川夫妻の学生時代のお話や、お二人の馴れ初めまでお話をしてくださいました。とても有意義な時間でした。このような貴重な機会をいただき、川村先生と中川総領事にはとても感謝しております。



韓国から教育学部の留学生が3週間、  
フィンドレーに来ました。短い間でしたが、アジア人同士波長が合い、意気投合しすぐに仲良くなることができました。韓国はハングルだけを使うのかと思っていたのですが、漢字も学校で習うという



ことを聞き驚きました。初日は名前の漢字の話で盛り上がりました。現地のアメリカの学生だけではなく、世界各国からの人々と出会うチャンスを得ることができる留学は本当に貴重で素敵なものだ改めて感じました。



前期に、同じ授業を受けていた、サウジアラビアからの大親友のお別れ会をダウンタウンの日本食レストランで行いました。彼は英語がペラペラで、なんと日本語もほとんどの

会話の内容を理解することができます。彼はゲームとアニメが幼い頃から大好きで英語も日本語もそれらから習得したそうです。今は、彼はフロリダの飛行機関連の大学に通っています。実は、フィンドレーにはサウジアラビアからの学生が多く、私の一

番仲のいい友達もサウジアラビアからの学生です。春休みの旅行もサウジアラビアからの学生と一緒に去了。次のレポートではサウジアラビアについて少し紹介したいと思います。